海老江換気所新築その他工事 正誤表

7月2日付けで回答いたしました受付番号4の質問回答書につきまして、
番号20、90の回答内容に下記のとおり誤記載がありましたので再回答いたします。

(正)

質 問	回 答
番号17 S-33、A-71 雑詳細図(1) 目隠し詳細図 胴縁C-150×65×20×3.2について、意匠図ではC-100×50×20×3.2となっており、くい違います。意匠図を正とし、C-100×50×20×3.2と考えて宜しいでしょうか。	番号17 胴縁についてはC-150×65×20×3.2とお考えください。 なお、「金額を記載しない設計書P30及び意匠図A-71」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号18 A-71、金抜設計書30 金抜設計書 鉄骨工事 ルーバー下地(外部)鉄骨 溶融亜鉛メッキについて、HDZ55となっていますが、意匠図ではHDZ50となっており、くい違います。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。また、屋上目隠しルーバーのメッキ仕様も同様にHDZ50(胴縁HDZ45)と考えて宜しいでしょうか。	番号18 金額を記載しない設計書P30のとおりとお考えください。 なお、「意匠図A-71」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号19 A-70 部分詳細図(1) D1-8鉄骨階段柱基礎 アンカーボルト M20 L=700について、構造図ではL=500となっており、くい違います。構造図を正とし、L=500と考えて宜しいでしょうか。	番号19 ご質問のとおりとお考え下さい。 なお、「意匠図A-70」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号20 S-41 屋外鉄骨階段詳細図(1) R1FL ササPL-9のRC部アンカー取付について、下記の様に見込んで宜しいでしょうか。 ・BPL-16×200×200 ・AB 2-M16 L=400(SS400)	番号20 ご質問のとおりとお考えください。
番号21 S-41、A-37、金抜設計書28 屋外階段メッキ仕様について、金抜設計書より、HDZ55(胴縁はHDZ35)と考えて宜しいでしょうか。	番号21 ご質問のとおりとお考えください。
番号22 A-73 部分詳細図(4) D4-1 B2階点検ステージ A断面について、B2FL+580にH形梁、溝形梁の記載がありますが、構造図には記載がなく、くい違います。意匠図を正とし、見込むと考えると宜しいでしょうか。	番号22 ご質問のとおりとお考え下さい。 なお、「構造図S-34」について、別添正誤表のとおり修正いたします。

※番号20の回答を修正しました。

(誤)

質 問	回 答
番号17 S-33、A-71 雑詳細図(1) 目隠し詳細図 胴縁C-150×65×20×3.2について、意匠図ではC-100×50×20×3.2となっており、くい違います。意匠図を正とし、C-100×50×20×3.2と考えて宜しいでしょうか。	番号17 胴縁についてはC-150×65×20×3.2とお考えください。 なお、「金額を記載しない設計書P30及び意匠図A-71」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号18 A-71、金抜設計書30 金抜設計書 鉄骨工事 ルーバー下地(外部)鉄骨 溶融亜鉛メッキについて、HDZ55となっていますが、意匠図ではHDZ50となっており、くい違います。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。また、屋上目隠しルーバーのメッキ仕様も同様にHDZ50(胴縁HDZ45)と考えて宜しいでしょうか。	番号18 金額を記載しない設計書P30のとおりとお考えください。 なお、「意匠図A-71」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号19 A-70 部分詳細図(1) D1-8鉄骨階段柱基礎 アンカーボルト M20 L=700について、構造図ではL=500となっており、くい違います。構造図を正とし、L=500と考えて宜しいでしょうか。	番号19 ご質問のとおりとお考え下さい。 なお、「意匠図A-70」について、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号20 S-41 屋外鉄骨階段詳細図(1) R1FL ササPL-9のRC部アンカー取付について、下記の様に見込んで宜しいでしょうか。 ・BPL-16×200×200 ・AB 2-M16 L=400(SS400)	番号20 構造図S-41鉄骨階段詳細図に記載のササラ柱脚部記載のとおり、下記とお考えください。 ・BPL-16×200× <u>300</u> ・AB 2-M16 L=400(SS400)
番号21 S-41、A-37、金抜設計書28 屋外階段メッキ仕様について、金抜設計書より、HDZ55(胴縁はHDZ35)と考えて宜しいでしょうか。	番号21 ご質問のとおりとお考えください。
番号22 A-73 部分詳細図(4) D4-1 B2階点検ステージ A断面について、B2FL+580にH形梁、溝形梁の記載がありますが、構造図には記載がなく、くい違います。意匠図を正とし、見込むと考えると宜しいでしょうか。	番号22 ご質問のとおりとお考え下さい。 なお、「構造図S-34」について、別添正誤表のとおり修正いたします。

(正)

質 問	回 答
番号88 A-47.59 便所隔て板の仕様が不明です。トイレブース同仕様と 考えて宜しいでしょうか。	番号88 ご質問のとおりとお考えください。
番号89 A-33.41.73 B2F D通り可とう式継手の位置及び躯体平面形状 がA-73 詳細図D4-1の図示と平面詳細図・矩計図 で相違します。 平面詳細図・矩計図が正と考えて宜しいでしょうか。 上記で正の場合、平面詳細図・矩計図と整合性のあ る部分詳細図を御指示下さい。	番号89 ご質問のとおりとお考えください。 なお、意匠図A-73については、別添正誤表の通り 修正いたします。
番号90 A-41 B2F 6通り可とう継手に土木工事と記載がありますが 、数量書P49にはスリッパー及び可とう継手が計上 されております。また、A-71 詳細図D2-7には図中 に下図の様な書入れもあり、本工事範囲に含む範囲 が不明確です。具体的に本工事に含む可とう継手 部材を御指示下さい。	番号90 <u>意匠図A-71 D2-7 注記に記載のとおり、可とう継 手、スリッパー(防護管、スパイラル筋含む)、止水 板については、換気所新築工事には含まれていな いものとお考えください。</u> ただし、共同溝と換気所継手部は本工事に含まれ ておりません。 なお、金額を記載しない設計書P49について、誤り がありましたので、別添正誤表のとおり修正します。
番号91 A-33 B2F D通り可とう継手に土木工事と記載がありませ んが、A-71 詳細図D2-7(下図)では土木工事となっ ております。上記質疑同様に具体的に本工事に含 む可とう継手部材を御指示下さい。	番号91 上記質問番号90の回答をご参照ください。
番号92 A-72 詳細図D3-21 間柱廻りにロックウールの図示がありま すが、A-40 シャッター部のH鋼部にもロックウールは必要と考 えて宜しいでしょうか。	番号92 ロックウールはないものとお考えください。
番号93 A-72 詳細図D3-18・9 開口塞ぎ板PLの仕上が不明です。 溶融亜鉛メッキ仕上と考えて宜しいでしょうか。	番号93 ご質問のとおりとお考えください。 なお、「金額を記載しない設計書P49」について、別 添正誤表のとおり修正いたします。

※番号90の回答を修正しました。

(誤)

質 問	回 答
番号88 A-47.59 便所隔て板の仕様が不明です。トイレブース同仕様と 考えて宜しいでしょうか。	番号88 ご質問のとおりとお考えください。
番号89 A-33.41.73 B2F D通り可とう式継手の位置及び躯体平面形状 がA-73 詳細図D4-1の図示と平面詳細図・矩計図 で相違します。 平面詳細図・矩計図が正と考えて宜しいでしょうか。 上記で正の場合、平面詳細図・矩計図と整合性のあ る部分詳細図を御指示下さい。	番号89 ご質問のとおりとお考えください。 なお、意匠図A-73については、別添正誤表の通り 修正いたします。
番号90 A-41 B2F 6通り可とう継手に土木工事と記載がありますが 、数量書P49にはスリッパー及び可とう継手が計上 されております。また、A-71 詳細図D2-7には図中 に下図の様な書入れもあり、本工事範囲に含む範囲 が不明確です。具体的に本工事に含む可とう継手 部材を御指示下さい。	番号90 <u>換気ダクトと換気所継手部は本工事に含まれます。</u> ただし、共同溝と換気所継手部は本工事に含まれ ておりません。
番号91 A-33 B2F D通り可とう継手に土木工事と記載がありませ んが、A-71 詳細図D2-7(下図)では土木工事となっ ております。上記質疑同様に具体的に本工事に含 む可とう継手部材を御指示下さい。	番号91 上記質問番号90の回答をご参照ください。
番号92 A-72 詳細図D3-21 間柱廻りにロックウールの図示がありま すが、A-40 シャッター部のH鋼部にもロックウールは必要と考 えて宜しいでしょうか。	番号92 ロックウールはないものとお考えください。
番号93 A-72 詳細図D3-18・9 開口塞ぎ板PLの仕上が不明です。 溶融亜鉛メッキ仕上と考えて宜しいでしょうか。	番号93 ご質問のとおりとお考えください。 なお、「金額を記載しない設計書P49」について、別 添正誤表のとおり修正いたします。

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
防水提排水目皿	φ100用 ステンレス製	か所	4			材工共
後施工アンカー	樹脂アンカー M-16 横向き SDW-1周囲	本	54			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ50用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	4			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ125用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	1			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ200用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	1			材工共
壁スリーブ閉塞蓋	φ200用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	2			材工共
						※項目削除
計						

名 称	規 格	単 位	員 数	単 価	金 額	摘 要
防水提排水目皿	φ100用 ステンレス製	か所	4			材工共
後施工アンカー	樹脂アンカー M-16 横向き SDW-1周囲	本	54			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ50用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	4			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ125用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	1			材工共
床スリーブ閉塞蓋	φ200用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	1			材工共
壁スリーブ閉塞蓋	φ200用 溶融亜鉛メッキ処理 PL-1.6(両面)タッピングネジ止め	か所	2			材工共
土木換気ダクト外取合 スリップバー	SS400 φ25×L=1000 スパイラル筋:有	か所	140			材工共
土木換気ダクト外取合 可とう継手	先付け型 伸量:100 沈下量:100 外水圧:0.15Mpa	m	64.4			材工共
計						